

[okazaki_21]

活動タイトル	双方向の学びの場「えこらぼカフェ」の開催
実施日	① 2007年12月3日 ②2008年1月25日 ③2008年2月18日
場所	① ② ③札幌市環境プラザ（札幌市）
対象数	
内容	<p>所属団体の NPO 法人環境活動コンソーシアムえこらぼでは、「良く聞くけれども、どんなことだろう?」「今さら聞けないなあ。」という皆さんの疑問を解消する気軽な学びの場、環境版のサイエンスカフェ「えこらぼカフェ」を、札幌市環境プラザを会場にして、昨年12月から始めました。一方通行ではなく、参加者の疑問や思いを大切にしながら、本質的な理解が進むことをめざしています。このような理解が広がることで、温暖化や他の環境問題の解決に繋がっていくのだと思います。</p> <p>(1) シリーズ「地球の今を知る」 第1回 砂漠化ってどんなこと? (平成19年12月3日開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・報告「モンゴル国での遊牧体験」(酪農学園大学2年生)・「原生植物を生かした植林」(酪農学園大学3年生) <p>実施場所:札幌市環境プラザ 実施期間:平成19年12月～平成20年2月</p> <p>講演「砂漠化ってどんなこと?」 星野 仏方(ホシノ プホウ)さん(酪農学園大学 准教授)</p> <p>酪農学園大学の先生の講演と、学生3名による研修報告を行いました。参加者の方からは、「非常にわかりやすく、興味深かったです。また、学生さん達が柔らかい心で、率直な受け止めをなさっていることに感銘を受けました。」という感想、学生からは、「・ 大学で学生間で交わす質問では出てこないような疑問・質問が出てきていたので、とても普段では経験できないことを経験できました。」という、発表者・参加者双方が、学ぶことのできる良い機会となりました。</p> <p>(2) シリーズ「地球の今を知る」 第2回 ドイツ環境研修報告 (平成20年1月25日開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・報告「環境ボランティア海外実習ドイツ研修コース報告」 (酪農学園大学2年生) <p>講演「ドイツの環境事情」 中原准一さん (酪農学園大学教授)</p> <p>2回目も、学生3名の報告と、先生の講演というスタイルで行いました。参加者全員から質問や感想が出され、また、参加者の質問に、別の参加者から答えやアドバイスが出される</p>

など、参加者の相互作用によって、学びが深まっていくことを実感でき、充実した時間となりました。

(3) シリーズ「地球の今を知る」 第3回 北極の氷が溶けるってどんなこと？
(平成20年2月18日開催)

お話「北極の氷が溶けるってどんなこと？」
田中教幸さん（北海道大学教授）

3回目は、大学の先生のお話。実際に、アラスカ大学で、北極の海氷についての観測・調査をしてこられた田中先生のお話は、今まで良く聞いてきた予測を基に語られる温暖化の話とは少し違って、皆さん、少し驚かれたようです。今回も、たくさんの質問が出て、理解が深まったようです。参加者の方達からは、「様々な気象条件や人為的な要因その他によって影響される海氷の複雑な振る舞いについて理解が深まった」ことや、「田中先生が最後におっしゃった我々がどう地球とつきあっていくかが重要だということとその通りと思った。そのためにできることを考えていきたい」等の感想が出されました。

3回を終えて、双方向の学びの場の大切さや意義を実感しているところです。4回目は、新シリーズ「エコなしくみを考える ドイツ環境NGOの運営」と題して、3月21日に行います。4月以降も、定期的な開催をめざして計画中です。

実施写真等